



◇ 今回は、卒業生の加藤悠花さん（京都大学総合人間学部卒）の報告です。

今回は、卒業生の加藤悠花さんの登場です。高校在学中は生徒会役員として大活躍、抜群の行動力で学校行事を盛り上げてくれました。卒業後は京都大学総合人間学部に進学。生徒会での経験を活かし、京都大学でもイベントサークルの仕掛人として活動。卒業後は大手広告代理店に勤務しています。

関高校から京都大学、そして社会人へ ～後輩のみなさんへのメッセージ～

こんにちは。私は、関高校、京都大学を卒業し、現在社会人1年目として働いている23歳です。今回、関高校入学前の皆様、受験を控える関高校の皆様に、大好きな関高校のこと、そして高校卒業後のことについて、お話をさせていただきます。

関高校から京都大学へ

そもそも私は、関高校に入るとき、京都大学に行くなど思ってもみませんでした。小さい頃から楽器をやっており、音楽の道に進むことを考えていたからです。京大を目指すことになったのは、将来をフワフワとしか考えていなかった私に、関高校のある先生が京都大学の存在を教えて下さったことがきっかけでした。京大はとにかく自由で、また変人が集まる場所だと知り、さらに実際に足を運び、どうしても行きたくなってしまうのです。志望を決めてからは、生徒会を務めながら、放課後先生に「ここがわからないです(涙)」と泣きつき質問攻めをしたり、友達に「これはどうやって解くの(涙)」とすがりついたりする日々でした(笑)。

最後の最後まで手厚いサポートして見守って下さった先生方、共に励まし合いながら頑張った仲間には感謝してもしきれません。

京都大学総合人間学部



こうして入った京都大学は、予想通りかそれ以上に自由で、とても楽しかったです。

私の学部は総合人間学部といい、京都大学に行きたかったというよりは、京大のこの学部とにかく行きたかったと言うほど望んで入った学部でした。簡単に言うと「興味のあることを何でも学んでOK」という最も自由な学部です。文理も問わず、学部の中で「人間科学」「認知情報」など大きく5つの分野に分かれており、入学後に選択がすることができます。大学に入ってから

やりたいことを見つけられる学部に行きたかった私にとっては、とても魅力的でした。また、今もそうですが、当時から私は、とにかく面白い人達と面白いことをすることが大好きだったため、この学部にて特に変人が多いと聞いていたことも、惹かれた大きな理由でした。

4年間、興味のある学問に多く手を出し、最終的に私は「発達心理学」で卒論を書きました。ヒヤダインさんを始め、京大の星野源と呼ばれるパズル博士の東出さん、B'zが好きすぎて「B'z哲学」で卒論を提出した新井さんなど、個性豊かすぎる変な先輩方にも出会うことができました。

サークル活動と音楽と旅と、結局は「人」

人と関わることが好きな私は、サークルは最も多く人と出会える、イベントサークルに所属しました。食堂を改装したり、学内に屋台を出したり、日々「有り得ない…」と眩きくなるイベントを実行しました。毎日がお祭のように楽しかったです。京大受験生をサポートする活動もしていました。京都大学の良さを伝えたい、多くの人に受験してほしい、そんな思いで皆頑張っており、今も続いています。京大受験を考えている方には、ぜひ活用してほしいです。

企画や運営など学ぶことは多く、サークル活動自体も良い経験でしたが、やはり、サークルで4年間一緒に活動した仲間こそ一生ものの宝です。学部に加え、ここでも望み通り面白い人たちと出会えました。卒業式は皆でコスプレをして出席しました。

実は現在も、イベントの一環である「京大カレー部」で活動しています。出店、地方遠征、目指すは全国制覇です。ぜひ「京大カレー部」で検索してみてください。

進路で迷っていた音楽も続けることができました。楽器が大きく置き場に困っていたところ、理由を話すと大学の部屋を貸していただけました(笑)。ついでに「歌が好きです」と先輩にお話すると、ボーカルでステージに立たせて頂けました(笑)。面白い人達との繋がりは、自分のやりたいことを実現させる近道なのです。

もう一つ、日本全国を旅しました。これも自由な大学だからこそできることです。海外へ行っても良かったのですが、まずは自国のことを知り、誇りをもって話せるようになりたいと思い、全県を制覇しました。ちょっとした私の自慢です。



大学生から社会人へ～私から伝えたいメッセージ～

つらつらと広く浅く綴ってしまいましたが、今紹介した大学生活は、ほんの、ほんの一部です。まだまだお話ししたい面白いことがたくさんあります。4年間、自分の好きな勉強をして、やりたいことをやって、「遊んでいただけじゃないか！」と言われてたら言い返せなさそうですが(笑)、経験、知識、繋がり…「得られたもの」は数えきれません。まだ23年しか生きていない奴が何を偉そうにという質問ですが、皆さんは何のために生きていますか。私は、とにかく幸せになるために生きています。人生って一度しかないじゃないですか。そう考えると、単純ですが、なるべく多くの時間を「幸せだな」って感じていたいと思うんです。そして、私が幸せを感じるためには、自分がやりたいことをできる環境と、多くの面白い人達が必要だと、高校、大学で気づいたのです。

現在は広告代理店で働いております。「大学のときに勉強したこと関係ないやん！」って思いませんか。「面白い人達と一緒に、面白いことを創造し続けるワクワクした人生であり続けたい」とき、大きく関係ある選択だと思っていますし、実際に今、日々ワクワクしております。忘れちゃならないのは、関高校に行かなければ、先生や仲間に出会わなければ、今の私は絶対に有り得なかったということです。

高校生のおときは、やりたくもない勉強をひたすらやって、それは苦しかった時も多かったです。でも、その後の人生の方が圧倒的に長いです。人生で「本気で嫌なことを頑張ってみる1年」があってもいいんじゃないでしょうか。これから辛いことがあっても「あの時私は1年頑張れた」って思えます。少なくとも私は本気で頑張ってよかったと思っています。それに、関高校での受験は、素敵な先生と仲間がいます。文化祭も体育祭もあります。苦しい中にも、見つけようと思えば同じくらい楽しいことがあります。実は、私の受験の思い出は、辛くて苦しかった時代、というより、大好きな人達と楽しんだ青春時代、というほうがしっくりくるのです。

どうか、かけがえのない今を全力で楽しみながら、未来の自分も笑えるように、頑張ってください。



高校3年生のクラス写真。文化祭クラス劇のあと撮影。